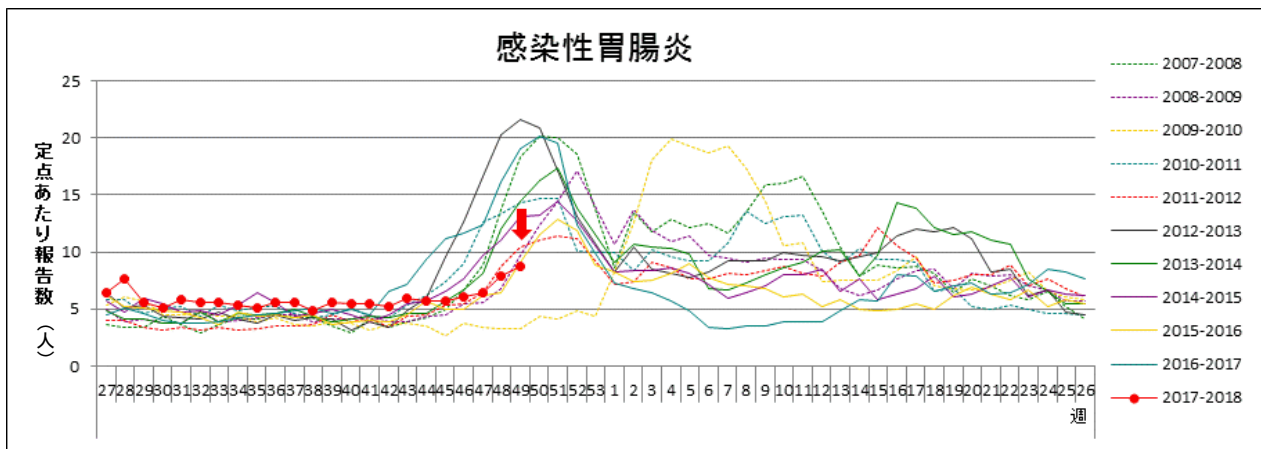


感染性胃腸炎週報 2017年 第49週 (12月4日～12月10日)

➤ 岡山県の流行状況

○感染性胃腸炎は、県全体で472名(定点あたり8.74人)の報告がありました。(54定点医療機関報告)

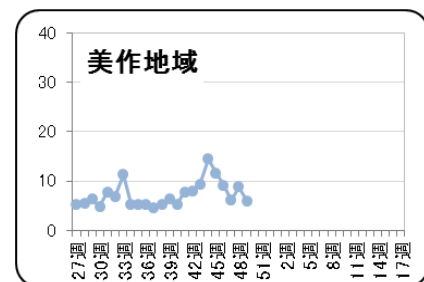
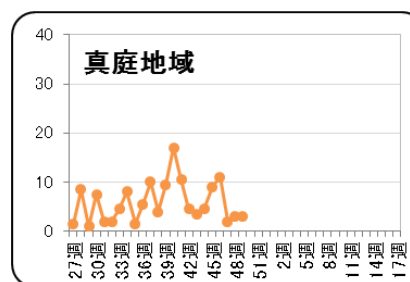
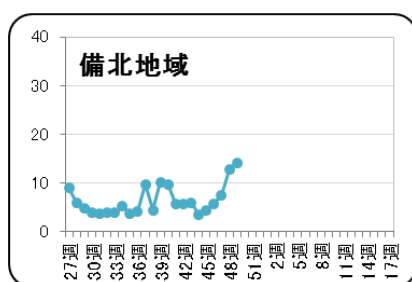
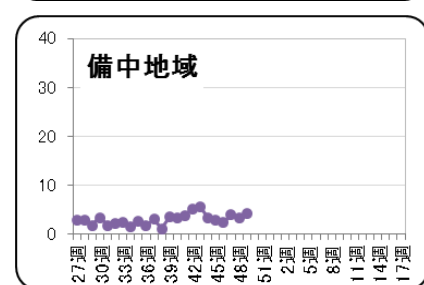
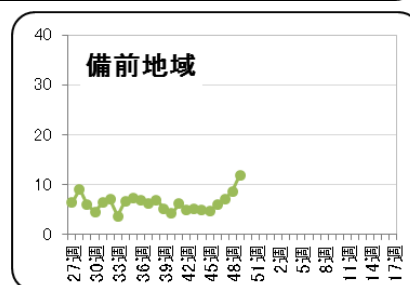
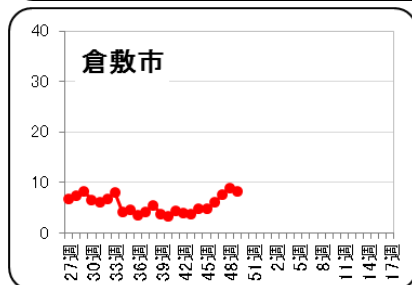
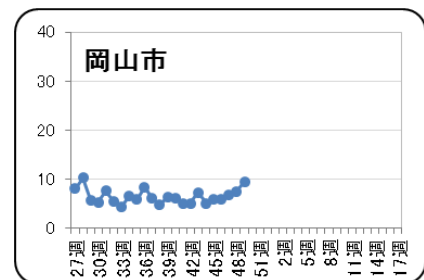
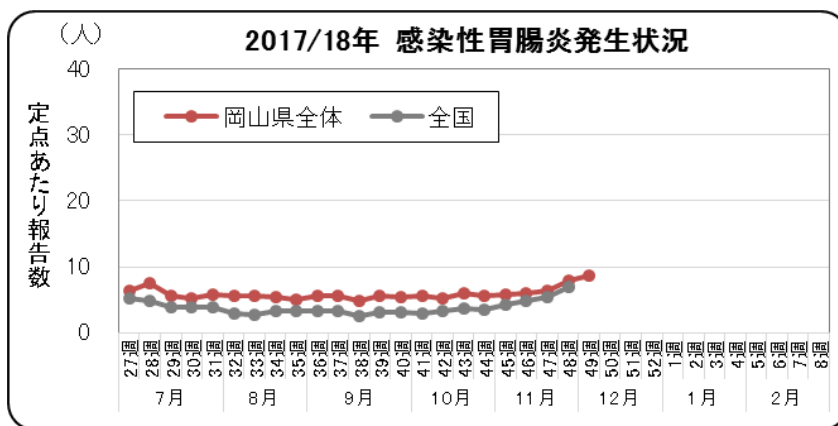


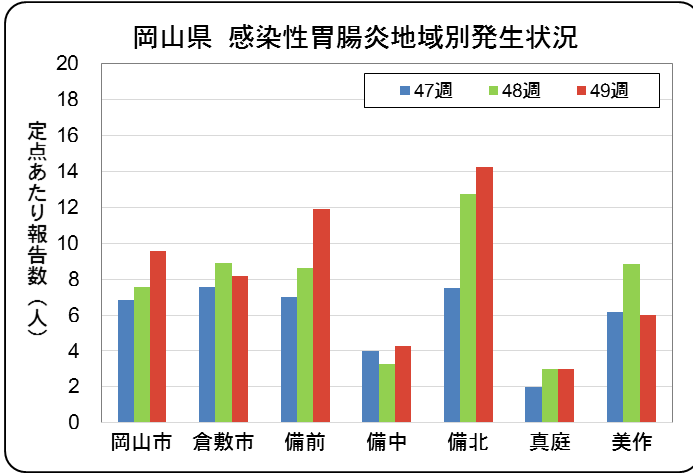
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週でグラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で472名(定点あたり7.83→8.74人)の報告があり、前週より増加しました。

冬の感染性胃腸炎の原因は、ノロウイルスなどのウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの徹底や、下痢便・おう吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。また、小さなお子さんや高齢の方は、おう吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診しましょう。

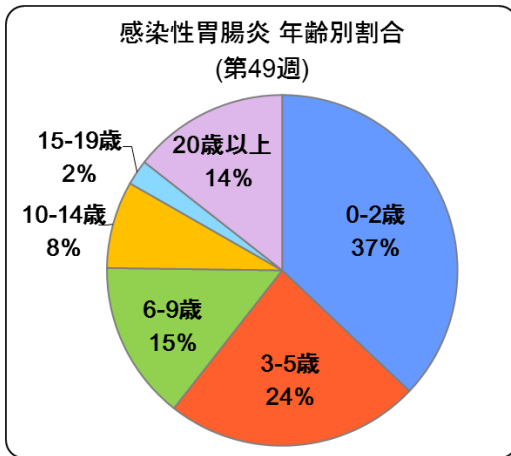
◆地域別・年齢別発生状況





レベル3		レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値
20	12	0 20未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。



地域別では、備北地域（14.25人）、備前地域（11.90人）、岡山市（9.57人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。
第49周年齢別割合では、0-2歳 37%、3-5歳 24%、6-9歳 15%の順で高くなっています。

◆◆ ノロウイルスによる感染性胃腸炎に気をつけましょう ◆◆

予 防 方 法

1. 最も大切なことは、手を洗うことです。

排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。

おう吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。処理をするときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、下痢便、おう吐物をペーパータオル等で静かに拭き取りましょう。拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム（※家庭用塩素系漂白剤でも代用可）**で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをしましょう。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。

3. おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、**85℃で1分間以上の熱水洗濯か次亜塩素酸ナトリウム（※家庭用塩素系漂白剤でも代用可）での消毒が有効です。**

おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、ウイルスが飛び散らないように汚物を除去し、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗った後、熱水が利用可能である洗濯機があれば熱水洗濯、または次亜塩素酸ナトリウムで消毒をしましょう。

4. 食品は、**中心部まで十分に加熱しましょう。（中心部を85～90℃で90秒間以上）**

二枚貝の生食を控えましょう。中心部までしっかり加熱すれば安心です。

※塩素系漂白剤を使用する際には、「使用上の注意」を確認しましょう。

○ノロウイルスに関するQ&A（厚生労働省）

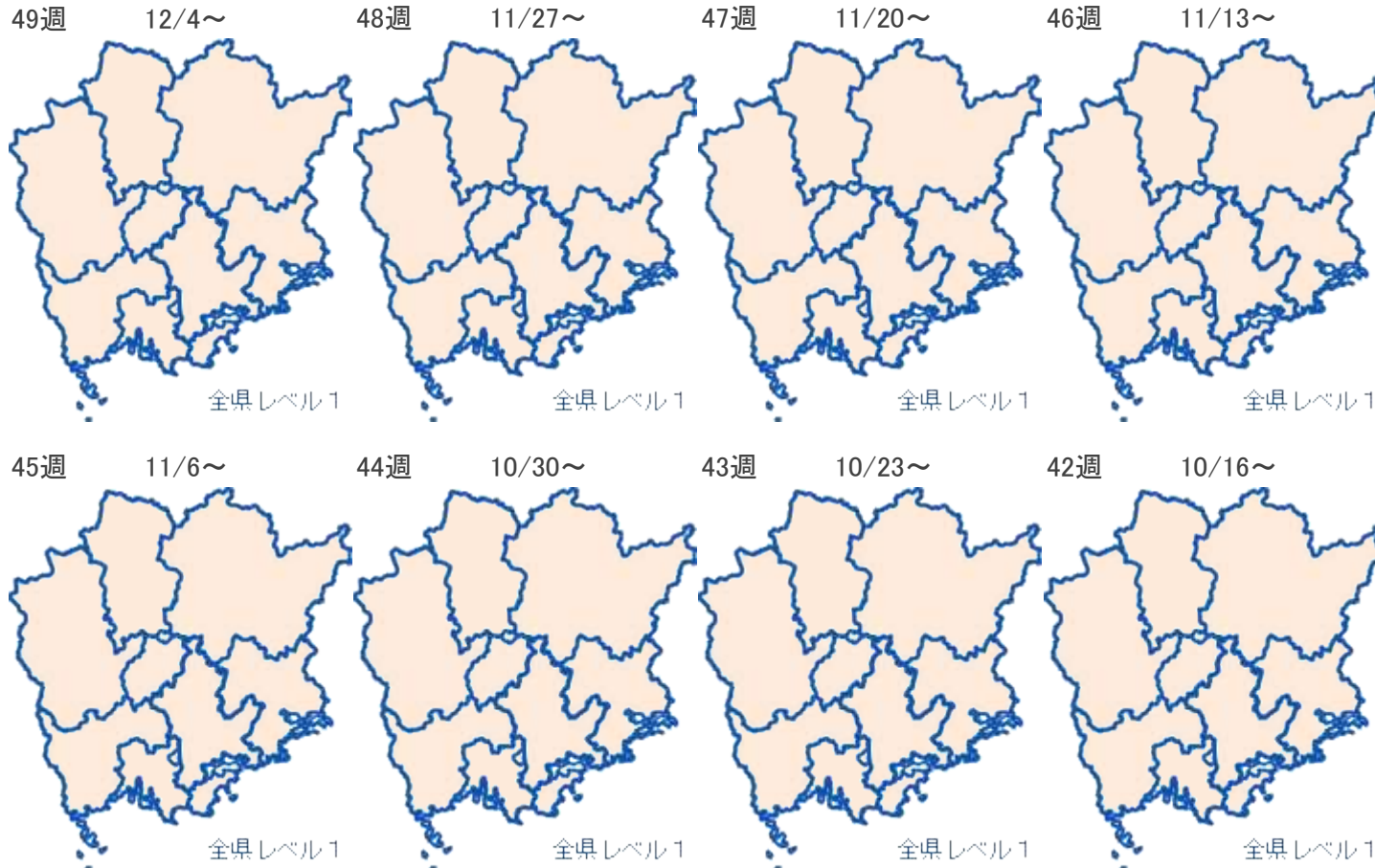
○ノロウイルス感染症とその対応・予防（家庭等一般の方々へ）（国立感染症研究所）



岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2017年 49週

2017年12月13日

11:22:28



感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。